



災害に家族で備える 美浜町防災リュックを町内全世帯に配布

■お問い合わせ先
町エネルギー政策課
危機管理対策室
(担当・志賀) ☎32-6716



↑各世帯へ配布されている防災リュックと防災グッズ



↑各地区・自主防災組織から区民へ配布

町では、9月から順次、町内の全世帯に美浜町防災リュックの配布を行っています。町での防災リュックの配布は、28年ぶりで1月1日に発生した能登半島地震を受け、町民の防災意識と防災対応能力の向上を図るため、各地区・自主防災組織等の協力を得ながら、1世帯に1つ配布しています。

能登半島地震では、家屋の倒壊や水道設備の損害が相次ぎ、衛生環境が悪化したことから防災リュックには、収納式ヘルメットやポディーシー、ト、給水バッグ等、町の防災士と協議し、決定した全22品目を収納しています。なお、非常食や飲料水、人によってサイズが異なるものは収納していません。同封している「持ち出し品リスト(例)」を参考に、家族全員が避難する際に必要となる持ち出し品や備蓄品を追加し、オリジナルの防災リュックを準備できるようにしています。

町では、今後もこれらの取り組みを通して、町民の皆様への防災意識の向上に努めていきます。



大雨による土砂災害を想定 令和6年度美浜町防災訓練(耳地区)

■お問い合わせ先
町エネルギー政策課
危機管理対策室
(担当・志賀) ☎32-6716



↑オンラインによる災害現場中継(災害対策本部)

9月29日に、耳地区を対象とした防災訓練を実施しました。この訓練は、区、自主防災組織を中心とした災害発生時の行動や連絡体制の確認を行い、地域の防災力強化と町民の自主防災意識の高揚を図ることを目的としています。災害の想定は、耳地区を中心に雨が降り続き、大雨(土砂災害)警報が発表され、今後も降雨が予想される中、新庄地区上空に線状降水帯が発生し、県道が通行不能になったとの想定で訓練を行いました。訓練の内容は、屋外スピーカーや戸別受信機、防災アプリ等による災害情報の伝達や住



↑配布した防災リュックの説明(美浜中央小学校)

民避難、要配慮者の安否確認、地元消防団による区・自治会内のパトロール等を行いました。今回の訓練では、区・自治会と自主防災組織が連携した共同の手順の確認訓練や災害対策本部と災害現場、自主避難所等をオンラインでつなぐ情報伝達訓練を行い、今後の課題についても確認しました。指定避難所の美浜中央小学校では、町から配布された防災リュックの説明や町が備蓄する防災物品の展示、ワンタッチパーティーションの設置訓練等が行われたほか、災害対策用機械車両の展示が行われ、参加者は万が一の災害に備え、熱心に訓練に取り組んでいました。

保健福祉センター防災機能強化事業

[事業費] 1億3,352万円

平成9年12月に保健福祉センター内に整備した非常用発電機の老朽化が進行し、大規模災害等により長時間停電が発生した場合に、福祉避難所としての役割を果たせなくなる可能性があることから、新たな発電機の設置工事を実施しました。



保健福祉センターはあとびあ



道の駅「若狭美浜はまびより」

美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点整備事業

[事業費] 2億1,814万円

北陸新幹線敦賀駅開業に向けて、町のにぎわいを創出するため、道の駅「若狭美浜はまびより」を整備しました。また、はまびよりを適切に運営するために、民間事業者によるモニタリング等を実施しました。

総合運動公園改修事業

[事業費] 1億452万円

野球場等屋外施設は供用開始から33年が経ち、経年劣化や破損が生じていることから、野球場の受変電設備機器、多目的運動場とテニスコートの照明設備の更新工事を行いました。また、これらに関わる更新工事の監理業務の委託も行いました。



総合運動公園

公共交通運行事業

[事業費] 5,538万円

令和5年6月から、新しいデマンド交通「チョイソコみはま」の実証運行を開始しました。これまでの定時定路線の運行では対応できなかった、運行頻度や停留所までの距離を改善し、AIによる最適ルートでの速達性を確保しています。



運行を開始した「チョイソコみはま」バス

↓ 海水浴場に漂着したゴミを拾う京都伏見クラブの選手たち



**恩師の故郷に恩返しを
京都伏見クラブ清掃ボランティア**

9月29日に、NPO 法人京都伏見クラブの選手たちによる清掃ボランティアが久々子海水浴場で行われました。この活動は、同クラブの指導者たちが指導を受けた山口良治氏（久々子出身）と当町でのラグビー大会開催への恩返しとして、久々子の砂浜を綺麗にしたいと行ったものです。当日は、漂着したペットボトルやプラスチック等の漂着ゴミを拾い、軽トラック約6台分を収集しました。

↓ 児童に向けて歌で語りかける弓削田健介氏



**かけがえのない「いのち」について学ぶ
いのちと夢のコンサート**

10月3日に、いのちと夢のコンサートが美浜東小学校と美浜中央小学校で開催されました。この企画は、児童たちにプロのパフォーマンスを間近で見てもらうこと等を目的とし、講師に弓削田健介氏を迎えて行われました。講演では、「いのち」について、歌声とともに優しく語られ、会場は終始あたたかな雰囲気にも包まれていました。

↓ 米寿の記念品を戸嶋町長から受け取る橘恵慶さん（右）



**これからもお元気で！
すこやか長寿者訪問**

10月1日と2日に、戸嶋町長が町内の88歳（米寿）と99歳（白寿）以上の方を対象に訪問しました。今年、町内で米寿を迎えられる方は78人で、白寿以上の方は13人となっています。米寿を迎えられた橘恵慶氏宅（丹生）を訪問した戸嶋町長は「これからも元気に長生きを」と言葉をかけ、長寿を祝うとともに、記念品を贈呈しました。（関連第23頁）

↓ へしこ・早瀬浦等のふるまいに舌鼓をうつ乗客たち



**毎週土日美浜駅に停車
観光列車「はなあかり」出発！**

10月5日に、観光列車「はなあかり」が運行を開始し、停車した美浜駅でもてなしが行われました。この観光列車は、北陸デスティネーションキャンペーンに合わせて、12月22日までの毎週土日に敦賀と城崎温泉を往復しています。おもてなしでは、なびあす子ども合唱団による歌や町関係者等が乗客を出迎え、町のPRをしていました。

↓ 100mを走る児童たち



**練習の成果を発揮
美浜町小学校陸上運動発表会**

10月9日に、美浜町小学校陸上運動発表会が美浜東小学校グラウンドで開催されました。発表会では、町内3つの小学校の児童が100m走や走り幅跳び、走り高跳び、ボール投げ、長距離走、リレーの競技に出場しました。児童たちは、自己ベストの更新を目指し、練習の成果を存分に発揮していました。

↓ 白熱の代表リレーでバトンをつなぐ生徒たち



**優勝を目指して一致団結
美浜中学校体育祭**

9月21日に、美浜中学校の体育祭が同校グラウンドで開催されました。当日は、リレーや綱引き等の種目のほかに、生徒たちがこれまで練習を重ねてきた応援合戦が行われました。生徒たちは、体育祭を楽しみながらも競技等を全力で取り組み、優勝を目指して熱戦を繰り広げていました。

↓ 将来の選択肢について語る高木氏



**美浜出身の先輩に学ぶ
シナプス先輩大学**

9月23日に、第1回目となるシナプス先輩大学がなびあすで開催されました。この企画は、子どもたちの将来の可能性を広げ、地域愛を醸成することを目的としており、講師にデザイナーの高木直也氏（大阪府在住・新庄出身）を迎え開催されました。高木氏は、「好きなことを深堀し、得意なことを見つけたい」と聴講した中高生にエールを送っていました。



まちウォッチング
atching



↑ 走り高跳びをする児童

関西電力(株)大飯発電所3号機の事故を想定した 福井県原子力総合防災訓練が実施されます



日時 10月25日(金)・26日(土)
対象発電所 関西電力(株) 大飯発電所3号機(おおい町)
参加機関 国、福井県、大飯発電所30km圏内の県内市町(5市町)、
自衛隊、消防、電力事業者 等
訓練想定 大飯発電所が地震により外部電源を喪失。
その後、事故が進展し、放射性物質が施設外に
放出される事態を想定

▼訓練対象範囲 (PAZ・UPZ)



[町での訓練内容]

○町職員参集及び町原子力災害対策本部・町現地災害対策本部運営訓練【25日(金)、26日(土)】

- ・警戒事態から全面緊急事態、放射性物質放出に至るまでの災害対策本部会議等の開催。
- ・大飯原子力防災センターや、TV会議等で国、県、関西電力(株)との情報共有等を実施。

○住民への情報伝達訓練【26日(土)】

防災情報伝達システム(屋外スピーカー、戸別受信機、防災アプリ、ホームページ)、行政チャンネル、エリアメール等を使用した広報訓練を実施。



戸別受信機と行政チャンネル



防災アプリ

○屋内退避訓練【26日(土)】

- 対象：UPZ ※大飯発電所から半径おおむね30km圏内【町内全地区】

町原子力災害対策本部からの屋内退避指示により、自宅等において屋内退避訓練を実施。



バスによる広域避難訓練(令和4年度実施時)

○広域避難訓練【26日(土)】

- 対象：UPZ【西郷地区】

西郷地区の事前に参加依頼されている方は、バスやマイカー等で大野市へ一時移転(避難)

○消防団活動訓練【26日(土)】

- 対象：UPZ【西郷地区】

地元消防団による区民への避難の呼びかけ、一時集合施設への誘導、区内の見回りを実施。



屋外スピーカー

※26日(土)には、屋外スピーカーや戸別受信機、緊急エリアメール(町内全域)、防災アプリ、行政チャンネル等で広報訓練を行います。訓練ですのでお間違えのないようお願いします。

※お問い合わせ先 町エネルギー政策課 危機管理対策室(担当・志賀) ☎32-6716

↓久々子湖沿いのごみを拾う参加者たち



湖をいつまでも美しく 三方五湖一斉清掃

10月6日に、三方五湖一斉清掃が行われました。この活動は、三方五湖の環境と景観の保全を目的に、三方五湖保全対策協議会が開催したもので、町内外の団体や企業等15団体、約100人が参加しました。参加者は、久々子湖や日向湖等の周辺道路・側溝等に落ちているゴミを拾い集め、可燃ゴミや不燃ゴミ等、軽トラック約2台分を収集しました。

↓小学3・4年生の部でスタート後、坂道を駆け上がる児童たち



仲間の思いをたすきでつなぐ 第5回Mihama Ekiden Festival

10月12日に、第5回Mihama Ekiden Festivalが総合運動公園で行われました。この催しは、駅伝競技を通して心身共に健全な小中学生を育成することや中長距離・駅伝競技の普及等を目的とし、町のスポーツ協会が開催したものです。当日は町内外の小中学生25チーム約90人が参加し、秋晴れの下、熱いレースを繰り上げていました。

↓献花をする参列者たち



恒久平和の実現に向けて 戦没者追悼式

10月8日に、戦没者追悼式がはあとびあで行われました。追悼式は、戦没者の追悼と平和社会を次世代へ継承することを目的に開催され、約100人が参列しました。美浜町遺族会の石丸会長は「戦争の記憶が希薄化する中、多くの尊い英霊の犠牲の上に今の平和と繁栄があることを忘れず行動していきたい」と述べていました。

↓町老人クラブ連合会で初となる女性会長を務めたほか、読書ボランティア団体が定期的に読み聞かせを行う原氏(右から2番目)



年齢にとらわれず、自由で生き生きと エイジレス章受章報告式

10月15日に、令和6年度エイジレス章を受章した原智津栄氏(佐田)の受章報告会が町役場で行われました。エイジレス章は、年齢にとらわれず、生き生きとした生活を実践している高齢者等を内閣府が表彰しているもので、現在も現役で活動している原氏が受章しました。原氏は「好きで続けてきた読み聞かせの活動等を評価いただき大変光栄です」と受章の喜びを話していました。